



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



令和7年12月22日
札幌管区気象台
仙台管区気象台

令和7年度防災気象講演会「3.11東日本大震災から15年 ～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～」を開催します

札幌管区気象台・仙台管区気象台は宮城県と共に、令和8年2月10日に令和7年度防災気象講演会(併催:みやぎ防災フォーラム)を開催します。本講演会は札幌・仙台の2会場を中継して実施します。東日本大震災を振り返り、北海道・三陸沖後発地震注意情報への理解を深め、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備えを考えていただけるよう、ぜひご参加ください。

○開催概要

日 時: 令和8年2月10日(火) 13時00分 ~ 15時50分

共 催: 札幌管区気象台、仙台管区気象台、宮城県

後 援: 北海道、(一社)日本気象予報士会北海道支部、

(一社)日本気象予報士会東北支部、

地球ウォッチャーズー気象友の会ー

会 場: 【札幌会場】北海道大学 学術交流会館 小講堂

【仙台会場】仙台市中小企業活性化センター多目的ホール(AER 5階)

【オンライン会場】Zoom ウェビナー

申 込: 参加無料・事前申込(先着各会場120名、オンライン1000名)

※後日、YouTubeにてアーカイブ配信も行います。

○講演会の詳細・事前申込の方法

講演題目や申込方法等は別紙及び以下の特設ページをご覧ください。

後日公開予定のアーカイブ動画も、以下ページに掲載します。

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>

○取材希望について

当日は講演会の模様を公開します。取材を希望される場合は、社名、氏名及び人数を2月9日(月)10時までに以下の問合せ先までお知らせください。

問合せ先: 【札幌会場】札幌管区気象台 総務部 業務課 広報担当

電話 011-611-3217

【仙台会場】仙台管区気象台 総務部 業務課 広報担当

電話 022-297-8102

3.11

令和7年度防災気象講演会、
みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

令和8年

2月10日[火]

13時00分～15時50分(開場12時00分)

入場無料

※事前申込必要

演題

第一部(これまでの歩み)

1.震災当時の経験と教訓

Tell～子どもの目線から伝える被災地～ たけやま 武山 ひかる

2.東日本大震災から15年—発生メカニズムと被害実態を振り返る

いまむら ふみひこ 今村 文彦
東北大学 副学長・災害科学国際研究所 教授

3.東日本大震災以降の地震・津波に関する情報の改善

あおき しげき 青木 重樹
札幌管区気象台 気象防災部長

第二部(これからの備えと避難対策)

4.日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えと北海道・三陸沖後発地震注意情報

もりくぼ つかさ 森久保 司
内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当)

5.寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

ねもと まさひろ 根本 昌宏
日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域 教授・災害対策教育センター長

問い合わせ先

講演会事務局 info_lectureR7d@met.kishou.go.jp

札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters, JMA

仙台管区気象台
Sendai Regional Headquarters, JMA



東日本大震災から15年。

この15年間で防災情報をはじめ様々な改善が行われてきた。

それらを踏まえ、震災の記憶を風化させず、

今後来るべき巨大地震にどう備えるのか――

節目の年を迎える今、我が事感を持って考えていただきたい。

会場

北海道大学 学術交流会館 小講堂

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目8-1



札幌会場

仙台市中小企業活性化センター多目的ホール

〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

オンライン会場

Zoomウェビナー

定員

各会場先着120名、オンライン先着1000名

講演会参加のお申し込みは
こちらのページから▶

申込期限 2月8日

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>



共催:札幌管区気象台、仙台管区気象台、宮城県

後援:北海道、(一社)日本気象予報士会北海道支部、(一社)日本気象予報士会東北支部、地球ウォッチャーズー気象友の会

3.11

令和7年度防災気象講演会、
みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

次 第

13:00開始予定

第一部 (これまでの歩み)



1.震災当時の経験と教訓

Tell～子どもの目線から伝える被災地～

たけやま
武山 ひかる



2.東日本大震災から15年 一発生メカニズムと被害実態を振り返る

東北大学 副学長・災害科学国際研究所 教授

いまむら ふみひこ
今村 文彦



3.東日本大震災以降の 地震・津波に関する情報の改善

札幌管区気象台 気象防災部長

あおき しげき
青木 重樹

14:30開始予定

第二部 (これからの備えと避難対策)



4.日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への 備えと北海道・三陸沖後発地震注意情報

内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)

もりくぼ つかさ
森久保 司



5.寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域
教授・災害対策教育センター長

ねもと まさひろ
根本 昌宏

申込方法

●参加には事前申込が必要です。

先着順で受付し、定員に達し次第締め切ります。

定員 | 各会場:120名、オンライン:1000名

●札幌会場、仙台会場、オンライン(Zoomウェビナー)
からお選びください。

講演会参加のお申し込みは
こちらのページから



申込期限 2月8日

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>

●途中参加・退出は可能です。

会場 ※札幌・仙台の2会場

札幌会場

北海道大学 学術交流会館 小講堂

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目8-1

仙台会場

仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール

〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

個人情報の取り扱いについて

ご入力頂いた個人情報は、本講演会に関する事務に
のみ利用いたします。

問い合わせ先

講演会事務局

info_lectureR7d@met.kishou.go.jp